

9節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

18.9.1 一般事項

この節は、コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等の合成樹脂エマルジョンペイント塗りに適用する。

18.9.2 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表18.9.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

表18.9.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

工 程	種 別		塗り工法その他			塗付量 (kg/m ²)
	A種	B種	規格番号	規格名称	種 類	
素地ごしらえ	○(注)1		18.2.5、18.2.6(1)又は18.2.7による。			
1 下塗り	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマルジョンシーラー	—	0.07
2 中塗り1回目	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマルジョンペイント	1種	0.10
3 研磨紙刷り	○	—	研磨紙刷りP220～240			—
4 中塗り2回目	○	—	JIS K 5663	合成樹脂エマルジョンペイント	1種	0.10
5 上塗り	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマルジョンペイント	1種	0.10

(注) 1.素地ごしらえの種別は、塗料その他の欄による。

2.押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表 18.2.6によるB種とする。

【18.2.5 モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ】

モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえは表18.2.4により、種別は特記による。特記がなければB種とする。

表18.2.4 モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ

工 程	種 別		塗 料 そ の 他			面の処理
	A種	B種	規格番号	規格名称	種 類	
1 乾燥	○	○	—			素地を十分に乾燥させる
2 汚れ、付着物除去	○	○	—			素地を傷つけないように除去する
3 吸込み止め	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマルジョンシーラー	—	全面に塗り付ける
4 穴埋め・パテかい	○	○	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	ひび割れ、穴等を埋めて、不陸を調整する
			JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
5 研磨紙刷り	○	○	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する
6 パテしごき	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	全面をしごき取り、平滑にする
			JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
7 研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する

(注) 1. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの場合、工程3の吸込み止めは、塗料の製造所の指定するものとする。

2. 仕上材が壁紙の場合、工程3、工程4及び工程6に用いる塗料その他は、壁紙専用のものとする。

3. 合成樹脂エマルジョンパテは外部に用いない。

【18. 2. 6 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ】

- (1) コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえは表18. 2. 5により、種別は特記による。
特記がなければB種とする。ただし、7節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、(2)による。

表18. 2. 5 コンクリート面、ALCパネル面の素地ごしらえ

工 程	種 別		塗 料 そ の 他			面の処理
	A種	B種	規格番号	規格名称	種 類	
1 乾燥	○	○	—			素地を十分に乾燥させる
2 汚れ、付着物除去	○	○	—			素地を傷つけないように除去する
3 吸込み止め	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマルジョンシーラー	—	全面に塗り付ける
4 下地調整塗り	○	○	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1、C-2 CM-2又はE	全面に塗り付けて平滑にする
5 研磨紙刷り	○	○	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する
6 パテしごき	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	全面をしごき取り平滑にする
			JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
7 研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する

- (注) 1. コンクリート面の場合は、工程3を省略する。
2. 合成樹脂エマルジョンパテは外部に用いない。
3. 工程4の建築用下地調整塗材のC-1、C-2、CM-2又はEの使い分けは、15. 6. 5[下地調整]の(1)による。
4. 仕上材が壁紙の場合、工程3、工程4及び工程6に用いる塗料その他は、壁紙専用のものとする。

表18. 2. 6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

工 程	種 別		塗 料 そ の 他			面の処理
	A種	B種	規格番号	規格名称	種 類	
1 乾燥	○	○	—			素地を十分に乾燥させる
2 汚れ、付着物除去	○	○	—			素地を傷つけないように除去する
3 下地調整塗り (注)1	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1、C-2 又はCM-2	全面に塗り付けて平滑にする
4 吸込み止め	○	○	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラー及び 弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	—	全面に塗り付ける
5 パテしごき	○	—	JASS 18 M-202	反応形合成樹脂パテ	2液形エポキシ樹脂パテ	全面をしごき取り平滑にする
6 研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する

- (注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程3を省略する。
2. 7節[耐候性塗料塗り(DP)]におけるコンクリート面の場合、工程3の建築用下地調整塗材のC-1、C-2又はCM-2の使い分けは、15. 6. 5[下地調整](1)による。
3. 工程4のシーラー及び工程5のパテは、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定するものとする。
4. JASS 18 M-201及びM-202は、日本建築学会材料規格である。

【15. 6. 5 下地調整】

- (1) コンクリート面の下地調整は、次による。
(ア) 目違いは、サンダー掛け等により取り除く。
(イ) 下地面の清掃を行う。
(ウ) 下地調整塗材C-2を、1～2mm程度全面に塗り付けて、平滑にする。
ただし、スラブ等の見上げ面、厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。
(エ) 下地の不陸調整厚さが1mm以下の場合は、(ウ)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材C-1を平滑に塗り付けることが出来る。
(オ) 下地の不陸調整厚さが3mmを超えて10mm以下の場合は、(ウ)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材CM-2を平滑に塗り付けることが出来る。

【18. 2. 7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ】

せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえは表18. 2. 7により、種別は特記による。
特記がなければ、せっこうボードの目地工法が継目処理工法の場合はA種、その他の場合はB種とする。

表18. 2. 7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ

工 程	種 別		塗 料 そ の 他			面の処理
	A種	B種	規格番号	規格名称	種 類	
1 乾燥	○	○	—			継目処理部分を十分に乾燥させる
2 汚れ、付着物除去	○	○	—			素地を傷つけないように除去する
3 穴埋め・ パテかい	○	○	JIS K 5669	合成樹脂エマルション パテ	一般形	釘頭、たたき跡、傷等を埋め、 不陸を調整する
			JIS A 6914	せっこうボード用 目地処理材	ジョイント コンパウン	
4 研磨紙刷り	○	○	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する
5 パテしごき	○	—	JIS K 5669	合成樹脂エマルション パテ	一般形	全面をしごき取り、平滑にする
			JIS A 6914	せっこうボード用 目地処理材	ジョイント コンパウン	
6 研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する

- (注) 1. 屋外及び水回り部の場合、工程3及び工程5の合成樹脂エマルションパテは、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定するものとする。
2. 工程3及び工程5の石こうボード用目地処理材は、素地がせっこうボードの場合に適用する。
3. ケイ酸カルシウム板面の場合は、工程3の前に吸込み止めとしてJASS 18 M-201に基ずく塗料を全面に塗る。
ただし、屋内で現場塗装する場合、吸込み止めに用いる材料は、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定する水系塗料とする。
4. 仕上材が仕上塗材の場合は、工程3及び工程5に用いる塗料その他は、仕上塗材の製造所の指定するものとする。
5. 仕上材が壁紙の場合は、工程3及び工程5に用いる塗料その他は、壁紙専用のものとする。